

各位

静岡県医師信用組合

過日ご送付しました静岡県医師信用組合「医信の現況2019」につきまして、下記の通り修正いただきますようお願い申し上げます。

1. 記載事項の追加

- (1) 下記「3. 銀行勘定の金利リスク」以下の図表・文言
記載箇所 「医信の現況2019」43ページ、上から12行目

3. 銀行勘定の金利リスク			
(単位:百万円)			
IRRBB:金利リスク			
項番		イ	ロ
		△EVE	
		当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	2,419	
2	下方パラレルシフト	0	
3	スティープ化	2,358	
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	2,419	
		ホ	ヘ
		当期末	前期末
8	自己資本の額	7,747	

(注1) 金利リスクの算定方法の概要等は、前項に示しております。

(注2) 「金利リスクに関する事項」については、平成31年度金融庁告示第3号(平成31年2月18日)による改正により、平成31年3月末から金利リスクの定義と計測方法等が変更になりました。このため、開示初年度につき、当期末分のみを開示しております。

なお、前年度開示しておりました旧基準による「金利リスクに関して内部管理上使用した金利ショックに対する損益・経済価値の増減額」(平成29年度)は、2,215百万円です。この算出に使用した金利ショックは、旧アウトライヤー基準に係る99パーセンタイル値であり、当期末の△EVEとは計算定義等が異なります。このため、両者の計数の差異が金利リスクの増減を示すものではありません。

- (2) 以下の文言及びデータを、48ページの最下行に追加願います。

□業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等

単位:百万円

業種別	個別貸倒引当金										貸出金償却	
	期首残高		当期増加額		当期減少額				期末残高			
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	目的使用	その他	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
各種サービス	31	4	4	-	31	4	-	-	4	-	25	1
合計	31	4	4	-	31	4	-	-	4	-	25	1

- (注) 1.当組合は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しています。
2.業種別区分は日本標準産業分類に準じて記載しております

(3) 以下の文言並びにデータを、51ページの上から19行目に追加願います。

□リスクウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項
単位：百万円

	平成29年度	平成30年度
ルック・スルー方式を適用するエクスポージャー		300
マンドート方式を適用するエクスポージャー		-
蓋然性方式(250%)を適用するエクスポージャー		-
蓋然性方式(400%)を適用するエクスポージャー		-
フォールバック方式(1250%)を適用するエクスポージャー		-

2. 計数の一部修正

P47の□自己資本の充実に関する事項について、以下の通り訂正願います。

訂正箇所	誤		正	
	平成30年度		平成30年度	
	リスクアセット	所要自己資本額	リスクアセット	所要自己資本額
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー※2	32,660	1,306	32,957	1,318
①(ii)金融機関向け	3,693	148	3,993	160
③リスクウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	300	12	2	0
ルック・スルー方式	300	12	2	0

以上